

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ2	出席委員数	6 / 7 名
日 時	平成27年 7月13日（月）13時00分～15時00分		
場 所	第2会議室		
【協議事項】（テーマ等）くらしよいまち			
1. 団塊世代の力の活用について			
・定年後、社会で培った力を持て余している人が多い。また、定年後の過ごし方は団塊の世代にとっても非常に大きな課題である。（ずっと住んでいても、地域との交流が無かった人もザラで、定年により急に交流の場が無くなる）			
⇒			
・地元中小企業へのコンサル業務ができる人材もいるだろう ・学校を開放して、早朝や放課後に教室を開くこともできる（他市町の学校で、地域の方を先生としたお茶・お花の教室をやっている例がある）			
2. 障がい者や交通弱者も容易に行動できるまちづくりについて			
・知的障害をもった人やその家族、車椅子や自転車を移動手段にする人が、気軽に外出し余暇を過ごす場所がない。また、そういった人が町内主要施設にアクセスする手段があまりない。			
⇒			
・徒歩、自転車、車椅子専用の安全な周遊道路があるとよい。 ・その沿道に公共施設や商業施設があれば、車が無くても十分生活が成り立つ。			
3. 住民税の確保について			
・北方町は住民票を置かない人、自治会に加入しない人が非常に多い。せっかく立地のよさで北方町の物件を選んでくれているのに、これでは税収につながらない。			
⇒			
・住民票を置くことではじめて受けられる魅力あるサービスを実施する必要があると思う。			
（また、ふるさと納税については、きらりホールのイベントの券など、「町内で使える」ことや「北方町の魅力をアピール」したお礼の品がよ			

いと思う。)

4. 隣近所、自治会内、町内等で人が多く集まり交流する機会があまりないことについて

- ・町内清掃や美化運動のときくらいしか人が集まることがない。
- ・せっかくの門前市も、新規のお客さんがあまりいるようには見えない。
- 3 弘法めぐりのバスツアーも長時間滞在しない。

⇒

- ・半強制的でもよいから、人が顔を合わせるきっかけが必要だと思う。ゴミを拾うこと自体も目的だが、人と人が接することが重要なので、清掃の機会がもっとあってもよい。
- ・門前市では、小学生～高校生くらいが発表する機会を設けても良いと思う。家族が門前市に来るきっかけになる。
- ・飛び込みの出店者も1回〇〇円の出店費を徴収して、参加できるようにしてもいいかもしれない。(非営利は無料)

5. 主婦層にとっての働きやすさについて

- ・子どもを持った主婦層がパートをする職場が限定されている。乳幼児の保育所を併設した企業があれば働きやすい。

一次回開催予定日ー

8月31日(月) 10:00~

テーマ: 地域の交流について

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入をお願いします。